

# 大平交通安全だより

2012年  
**冬**  
交通事故防止  
特集号



■ 日々寒さが増し、「かるた遊び」などが楽しい季節になりました。この「かるた遊び」では、たくさんある読み札と取り札を覚え、取り札がどこにあるかを把握し、読み札に素早く反応しなくては、札を取ることができません。

■ 交通場面においても、交通事故につながる危険はたくさんありますが、具体的にどのような危険があるのか、その危険は交通場面のどこに潜んでいるのか、をしっかりと把握していなければ、危険に素早く反応し、それを回避することはできません。

■ 家族みんなが年末を無事故で過ごし、笑顔で新年を迎えることができるよう、多発事故に結びつく危険が交通場面のどこに潜んでいるのかを把握するとともに、具体的な安全運転・通行のノウハウを身につけ、しっかりと実践しましょう。

## 大平交通安全協会

(事務局：大平総合支所 生活環境課)



危険に素早く反応し、確実に事故を回避するために…

# 多発事故に直結する 危険を把握!

車に乗ったら全席シートベルト!



子どもにはチャイルドシート



交通事故が最も多発する危険個所の「交差点」、それに次いで事故が多い「単路（直線部・カーブ）」、特に年末から年始にかけて帰省等で利用する機会が多い「高速道路」の3つの通行場所に潜む多発事故の危険と事故防止のポイントをまとめました。

## 交差点に潜む危険を把握!

■人身事故の半分近くは、「交差点」で発生しています。この「交差点」では、「**自転車事故**」と「**出会い頭事故**」がそれぞれ30%以上を占めて多発しているほか、「**右・左折時の事故**」が10数%を占めています。

### 交差点の危険 ①

特に自宅近くの交差点では、油断しがち…

危険性が高くなります。  
★**ドライバー**は、交差道路側に一時停止の標識がある場合でも、交差道路から出てくる車や自転車の有無を確かめましょう。



▲青信号でも右・左折車が横断歩道等を横切る…

◎年末の忙しきにかまけ、自宅近くの信号がない交差点を自転車や車で通行するとき、「ふだん車や自転車はこないから…」と横着して安全確認を怠ると、交差道路から出てきた他の自転車や車と出会い頭に衝突する

★**自転車利用者**は、一時停止の標識がある場合はもちろん、標識がない場合でも、交差点手前で一時停止し、交差道路から出てくる車の有無を確かめましょう。

### 交差点の危険 ②

青信号だと、警戒心が薄れがち…

◎青信号の交差点を、車で右・左折するときや、歩行者・自転車渡る時、「青だから安全…」と油断していると、横断歩道（自転車横断帯）上で車と歩行者・自転車衝突する事故の危険性が高くなります。

★**歩行者と自転車利用者**は、たとえ信号が青でも油断せず、交差点を広く見渡し、右・左折車の有無を確かめながら渡りましょう。



▲特に住宅地域では、自転車と車の事故が多発…

特に夜間、ドライバーは右・左折時に横断歩行者・自転車を見落としがちですので、車が右・左折してきたときは、通りすぎるのを待ちましょう。

# 単路（直線部・カーブ）に潜む危険を把握！

■ 人身事故のおよそ40%は、交差点と交差点付近（おむね交差点から30メートル以内）以外の「単路」で発生しています。この「単路」では、「追突事故」が圧倒的に多く発生していますが、死亡事故に限ってみると「歩行者事故」が最多です。

## 単路の危険 ①

### 渋滞中の道路では 前の車に漫然と 追従しがち…

◎ 特にこれから年末にかけて、街なかの道路が混雑しがちですが、渋滞ぎみの道路をノロノロと走行中、前の車に漫然と追従していると、不意に減速・停止した前の車に追突する危険性が



▲ 前方の信号が青でも、前車の減速・停止を警戒…

高くなります。

★ **ドライバー**は、渋滞中でも、前の車に漫然と追従せず、先行車の動向にも目配りして、流れの変化を先読みしましょう。

## 単路の危険 ②

### 夜間は歩行者が 見えにくくなる…

◎ 日没が早い冬は、学校や仕事から帰宅したり、夕食の買い物に出かけたりするときには暗くなってしまつため、歩行者事故の危険性が高くなります。

★ **ドライバー**は、薄暗くなつてきたら早めにライトを点灯するとともに、道路前方のあちこちに目配りし、歩行者の早期発見に努めましょう。特に高齢者は黒っぽい服装の人が多く、暗や



▲ 夜間、歩行者は暗やみにまぎれてしまう…

みにまぎれて発見しにくいので要注意です。

また、夜間は、ヘッドライトの光が行き届かない道路前方右側の暗がりにも目配りし、その暗がりから横断してくる歩行者の早期発見に努めましょう。

★ **歩行者**は、道路を渡る前に必ず一度立ち止まり、道路の右左から近づいてくる車の有無をしっかり確かめましょう。

また、道路横断中も油断せず、特に夜間は、道路を半分渡り終えたあとの横断後半、左から近づいてくる車の有無をしっかりと確かめながら渡りましょう。

## 冬道 安全運転の 3大ポイント

### ポイント1

全輪にスタッドレスタイヤ!



### ポイント2

急な操作はしない!



### ポイント3

同時操作は厳禁!



# 高速道路に潜む危険を把握！

■ 高速道路の事故は、人身事故に占める割合はわずか2%ほどですが、ハイスピード走行中の事故ゆえ、**何台もの車を巻き込む大惨事になりやすく**、また、通行止めなどによる間接的被害も甚大です。

## 高速道路の危険 ①

### 先行車の流れが 突然停滞する ことがある…

滞することが多いので、**ドライバー**は、先々の状況にも目配りし、流れの変化を先読みしましょう。

## 高速道路の危険 ②

### 交通量が少ないと 注意力が 低下しやすい…

◎ 高速道路では追突事故が圧倒的に多く発生していますが、その大半は、車線上に停止していた車に追突したものです。

◎ 特に交通量が少なく単調な直線が続く区間では、目線を前方の一点に固定して運転しがちですが、そうすると注意力は確実に低下して、ぼんやり・居眠り運転に陥り、中央分離帯などに衝突する危険があります。



▲ 流れが順調でも、突然流れが悪くなることも…

★ **ドライバー**は、道が空いていてもリラックスしすぎず、意識的に目線をあちこちに動かしたり、ガムをかんだりして、注意力を高めましょう。

# 飲酒運転は危険!

■年末年始は忘年会や新年会などでお酒を飲む機会が増えますが、飲酒が運転に与える悪影響を正しく理解していないために、「ちょっと飲んだだけだから…」「酒に強いから…」と安易に判断してハンドルを握り、事故を起こすドライバーが後を絶ちません。

■なぜ飲酒運転が危険なのか、その悪影響をしっかりと理解し、「飲んだら乗らない」「乗るなら飲まない」「乗る人には飲ませない」を徹底しましょう。

## アルコールが運転に及ぼす主な悪影響

### 1 危険の見落としが増える…

★わずかな飲酒でも、動くものを見る際の「動体視力」や、遠近を判断する「深視力」が低下したり、「視野」が狭くなるなどして、見落としが増えます。



### 2 反応時間が延びる…

★わずかな飲酒でも、危険を察知してからブレーキペダルを踏むまでに要する「反応時間」が延びるため、いざというときに危険を避けきれなくなるおそれがあります。



### 3 誤った操作をしやすくなる…

★わずかな飲酒でも、誤った操作をしやすくなるため、ブレーキとアクセルを踏み間違えるなどして、事故を起こす危険性が高くなります。



## ドライバーはもちろん、飲酒運転にかかわった人も厳罰!

### 酒酔い運転

飲酒量にかかわらず、言語動作が正常でないなど、いわゆる酩酊状態で運転する行為

- ドライバー …… 5年以下の懲役または100万円以下の罰金
- 車両の提供者 …… 5年以下の懲役または100万円以下の罰金
- 酒類の提供者 …… 3年以下の懲役または50万円以下の罰金
- 同乗者 …… 3年以下の懲役または50万円以下の罰金

※ただし、ドライバーが酩酊状態にあることを同乗者が知らなかった場合は「2年以下の懲役または30万円以下の罰金」

### 酒気帯び運転

呼気1ℓ中0.15mg以上または血液1ml中0.3mg以上のアルコールを体内に保有した状態で運転する行為

- ドライバー …… 3年以下の懲役または50万円以下の罰金
- 車両の提供者 …… 3年以下の懲役または50万円以下の罰金
- 酒類の提供者 …… 2年以下の懲役または30万円以下の罰金
- 同乗者 …… 2年以下の懲役または30万円以下の罰金

- 車両の提供者とは…酒気を帯びていて飲酒運転をするおそれのある者に対して、車両を提供した者
- 酒類の提供者とは…飲酒運転をするおそれのある者に対して、酒類を提供した者
- 同乗者とは…ドライバーが酒気を帯びていることを知りながら、車両に乗せてくれるよう依頼・要求をして、酒酔い運転や酒気帯び運転の車両に同乗した者

## 交通安全に関する表彰受賞者報告

10月19日、栃木県警察本部・栃木県交通安全協会が主催する表彰式において、交通安全に功労のあった大平地区の多数の方々が表彰を受けました。

### 表彰を受けた方々

- 栃木県警察本部長・栃木県交通安全協会会長連名表彰
- 交通安全功労団体 有限会社エンハンスカドヤ様
  - 優良運転者 40年/18名、30年/4名、20年/2名



※今年も、年末の交通安全・地域安全市民総ぐるみ運動が12月11日から31日まで実施されます。より一層、交通事故防止に努めていただきますようお願いいたします。